

第2回まちキネ落語会

立川志らくの

シネマ落語 in まちキネ

演目「たまや」

(天国から来たチャンピオン)

日時：平成22年11月17日(水) 15:00~16:00(開場14:30) 立川志らく「たまや」
16:15より 映画『天国から来たチャンピオン』上映

場所：鶴岡まちなかキネマ

料金：前売当日共通2,500円 ※チケットは9/25(土)16時よりまちキネにて販売
(落語と映画のセット料金。売り切れの場合の当日券はございません。)

シネマ落語とは…?



- 立川志らくが、好きな映画を落語で語る。つまり、有名な映画を、江戸時代を舞台に変えて落語にしてみました。映画館で落語をしてもらいますので、もとネタの映画『天国から来たチャンピオン』を同じ会場で落語終了後に上映します。楽しみが2倍になる「まちキネ」初の企画です。
- 映画だけでなく、落語だけでもない、「志らく」だからできる「シネマ落語」と「まちキネ」だからできる「落語&映画上映」で、コラボレーションの魅力をご堪能ください。



『天国から来たチャンピオン』

1978年公開アメリカ映画。

監督・製作・脚本・主演

ウォーレン・ベイティ

『幽霊紐育を歩く』(1941)をW. ベイティがリメイクし、大ヒットしたファンタジー感動作。

◆ストーリー

ロサンゼルス・ラムズの控えクォーターバックのジョー・ペンドルトンは、スーパーボウルの前日、交通事故に遭ってしまい急死してしまう。自分の死に納得できないジョーが、天使に抗議したところ、まだ50年もの寿命が残っており天使のミスで50年早く天国に召されたことがわかった。ジョーは即刻地上に舞い戻るようになったが、ジョーの肉体は既に火葬された後だった…。困った天使は殺されたばかりの若き実業家の中に彼を戻す。彼は新しい人間となり再びフットボールの世界を目指すのだったが…。

サクスの音色が切なく美しく、観た後に気持ちがいい、そんな作品です。

立川志らく(たてかわしらく) プロフィール

1963年8月16日生まれ、東京都出身

1985年10月立川談志に入門

1988年二つ目昇進、1995年真打昇進

落語家、映画監督(日本映画監督協会所属)、映画評論家、エッセイスト、昭和歌謡曲博士、劇団主宰と幅広く活動している。

映画を落語にしたオリジナルのシネマ落語は、「ダイハード」「E・T」「素晴らしき哉人生!」「街の灯」「タクシードライバー」などこれまで70本以上を上演、年に一度新宿紀伊國屋ホールでシネマ落語特別編を開催している。

2003年劇団下町ダニーローズを結成、脚本(脚色)、演出、主演をつとめ、年に1~2回の本公演を開催。向田邦子原作「あ・うん」、大林宣彦監督作品「あした」(原作は赤川次郎『午前0時の忘れ物』)の舞台はNHK-BSでも放映された。キネマ旬報、銀座百点、集英社:江戸を旅するの連載のほか、『全身落語家読本』(新潮社)、『立川志らく落語二四八席辞事典』(講談社)、『雨の中の、らくだ』(太田出版)など著書も多い。

25周年の今年、初の古典落語DVD『志らく』を4月より随時刊行、年内に全10巻(30席)が発売。

<http://www.shiraku.net>

鶴岡まちなかキネマ
鶴岡市山王町13-36 TEL0235-35-1228